

鳥取県労福協

2011年度第1回全県研修会

日時 2011年7月23日(土) 13時30分～  
場所 倉吉市山根「倉吉シティホテル」2Fレニエ  
テーマ 『災害に備える地域の力を育むために』について』  
講師 日野ボランティア・ネットワーク  
事務局 山下 弘彦 さん



2011年度第1回の研修会は東日本大震災でも被災地支援の大きな力となったボランティア活動をとり上げ、地域の活動と連動した『災害に備える地域の力を育むために』と題し、「日野ボランティア・ネットワーク」事務局の山下弘彦さんに講演いただきました。

講師の山下さんは、一人旅の途中で2000年10月の鳥取県西部地震に遭遇し、日野町での災害ボランティアに参加後、「震災を契機に育ったボランティアの心を住みよい地域づくりに生かそう」と結成された「日野ボランティア・ネットワーク」を仲間と設立。

現在は、「鳥取県西部地震展示交流センター」の受託運営などを拠点に、各地の災害に対して救援・復旧のボランティア活動への参画や、研修会などの啓発活動、高齢者見守りボランティア活動などを通じて、地域の支え合いを強める活動を展開中です。

講演では、その豊かな経験をもとに、今、活動中の東日本大震災現地の様子を紹介しつつ、長期に及ぶ被災者は個別の課題を抱えており、それに対応できる日常の地域コミュニティが大切であることや、誰もが気軽に「支え・支えられる」関係づくり、自分も何かをしたいという意識づくりの場の提供など、被災地ボランティア経験から学んだ「地域力を高めることの必要性」などの話を展開されました。

集まった参加者は、「地域社会との結びつきの必要性は、助け合いの労福協活動とも通じるものがある」との思いで聴講しました。



(事務局：通)